

お元気ですか

つかじさちの

第750号

レター便



日本共産党高知県議会活動報告ニュース

2015年 1月 18日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)



〈12月10日、法の施行に抗議する集会に県議団全員が参加〉

国民の自身、口と心とで秘密保護法の廃止を!

高すぎる(酷)保料(税)

「負担は非常に重い」、「今以上に国費投入が必要」と知事

昨年の12月県議会の行方質問で各地で問題となっている「高すぎる国保料(税)」について質問。
制度発足時と加入者の構成が大さく変化し、無職や非正規の方が増加。加入世帯の平均所得が、ピーク時の20万円から142万円に半減。一方、高齢者の割合が増加し医療費が増えた結果、保険料が3万円から千円からの万円近くになっている

ことと示し、「負担は限界」、84年以後の公費支出が医療給付費の2分の1という枠組みを見直し、「国費投入の抜本的強化が必要」と打ちました。
尾崎知事は、加入者の職業構成の変化による「構造的な問題」があること、特に高知県は無職の割合がほぼ半数となり、「1人当りの平均所得は55万4千円、全国平均

の83万円と比べても低く、一方で医療費水準が高いため、1人当りの所得に占める介護保険料を除く国保料の負担割合は65%と全国平均の59%と比べても非常に重くなっている」と、軽減のためには、「今以上の国費の投入が必要」、引き続き、財政投入を国に要望していきと続弁しました。

変わるがも日記

No. 748

一昨年の12月10日に、国民の反対を押し切って強行採決された「特定秘密保護法」が、昨年12月10日から施行されています。
政府が国民に知らせたくない事を「特定秘密事項」に指定することができ、それを知らずとした国民も取り締まるというもの、マスコミや国会議員までその対象となり、まさに「暗闇の社会」にさせようとしています。民主主義を壊す危険な動きを、カモ合わせくい止めましょ

私は、強度の近視で、めがねの度数が合わないなっつきなので、先日、めがねを新しくしました。すると、遠くの山の鉄塔まできれいに見えて、視界がスッキリ、でも、鏡のどくと、目尻や首スジのシワの深さもくっきり見えて、「え〜、こんなことにな、てたのレビショクを受けてまいりました。見えすぎるのもつらいものです……。けれど、現実を直視する、ことでこそ、問題の解決もできるといふもの、色々な事も、しっかり見つめて、より良〜っていかないと!

高すぎる国保料の引き下げを求め署名運動をしています。ご協力下さいますよう、よろしくお願いたします。